

環境人材育成のための大学教育プログラム開発・実証委員会 全体委員会 議事録

- 日 時 平成 21 年 9 月 8 日（火）10 時～10 時 20 分
- 場 所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館（C 1 棟） 特別会議室
- 出席者 府立大学：奥野、安保、正木、寺迫、菅野、辻田、辻川、難波、津戸、萩原、青山、
林、高橋
関係行政機関等：森下、吉田、谷本、辰田、辻尾、西崎、
プログラム開発・実証コア教員：大塚、北宅、西岡、杉山、森岡、
対外機関とのコーディネーター：前田、坂東、山崎、小林、（西崎）
事務局：小川、北田、増垣

■議事次第

1. 事業の概要
2. 事業の進捗状況及び今後の予定
3. 開発・実証委員会の役割
4. 意見交換

■配布資料

- 資料 1：開発・実証委員会設置要綱
- 資料 2：国際協調力を持つ環境人材育成のための教育プログラム開発事業
- 資料 3：事業の進捗状況及び今後の予定
- 資料 4：PDCA サイクル実施要領（案）

■議事概要

- 奥野（理事長・学長）が議長役となり、開会。
 - 冒頭、奥野から、環境省の環境人材育成事業に採択された経緯、開発・実証委員会が環境省から示された仕様書に基づき設置したこと等を説明。
 - 大塚（大学院工学研究科教授／エコ・サイエンス研究所長）から、配布資料に沿って、
 - ◇環境省が実施している大学教育プログラム事業における採択大学の状況
 - ◇府立大学における事業の全体概要として、予算規模、学部・大学院における講義科目とその内容
 - ◇進捗状況と今後の予定として、学部教育はシラバスの作成まで進んでいること、大学院教育はこれからシラバスの作成に入ること、平成 23 年度までにベトナムに学生を派遣する予定であること、全体委員会は年 2 回程度を予定していること
 - ◇開発・実証委員会の役割として、具体の講義計画等の作成は小委員会で行い、全体委員会はチェックの役割を担うこと
- 等を説明。
- 奥野から、本講義については、理系の学生だけでなく、全学の学生が受講してくれることを期待し、府立大学の“売り”にしたい旨の発言があった。

以上（敬称略）